

あきたへ、あなたも、あしたから
Aターン情報誌
あきた日和
AKITA BIYORI
vol.53 2011. 春号

Aターンプラザ秋田のご案内

Aターン求人開拓の現場から
雇用労働アドバイザー 金谷 哲郎さん

秋田の「今」がよくわかる
あきたA・La・Carte
マンガ描き&イラストレーター こばやしたけしさん

information
Aターン年間スケジュール



財団法人 秋田県ふるさと定住機構

Aターン就職を 希望されている皆様の想いと 秋田県内企業のご希望を しっかりと繋ぎます。

Aターンプラザ秋田では、秋田・東京スタッフの連携をさらに進めるとともに、皆様への就職支援を強化するなど、Aターン就職の実現に向け、新しい取り組みを進めております。

就職に関する情報提供と相談

Aターン就職をお考えの皆様には、ハローワーク、雇用労働アドバイザーと連携して、求人情報の提供と相談、応募に関わる紹介状の発行など責任を持ってお手伝いいたします。

求人と面接リクエストの開拓

Aターン就職へのご希望内容を、秋田県各地域振興局の雇用労働アドバイザーが、県内企業に伝え、企業の条件や意向に沿う方がおられれば、Aターンプラザ秋田から皆様にお知らせします。
また、企業から《Aターン面接リクエスト》の要請があれば併せてお知らせします。



情報提供と相談(Aターンプラザ秋田にて)



就職相談会(大学キャンパスにて)



就職相談会(大学キャンパスにて)

Aターンプラザ Q&A

Q.どれくらいの人が相談に来るの?

A.平成22年度は1年間で、来所での相談を346件、電話での相談を1092件頂きました。相談内容は、求人の閲覧・紹介希望が主で、284名の紹介状を交付しました。

Q.Aターン企業面接交通費助成制度はどれくらいの人が利用してるの?

A.平成22年度は、1年間で64名様の利用がありました。

Q.企業から登録者へのリクエストで多い業種・職種は何?

A.平成22年度の実績で見ると、業種で一番多いのは製造業、それに医療福祉、サービス業が続きます。職種で一番多いのは機械技術者で、次に営業と総務・経理事務、システムエンジニアが続いています。



Aターン企業面接 交通費助成について

【申請にあたっての注意点】

- 面接を受けに行く前にAターンプラザ秋田に事前連絡が必要です。
面接を受けた後にAターンプラザに連絡いただいても、助成の対象になりません。
- 面接のために出向かれる場合の交通費を助成するものですので、筆記試験や帰省、アパートを探すなどの目的のための費用については助成できません。
- 助成できる交通費は、鉄道運賃と航空運賃で、領収書等により金額が証明できるものに限られています。高速道路の料金やガソリン代、バス(リムジンバス含む)代、タクシー代は助成できません。

ご登録いただいた方へのサービス

	Aターン希望登録 (対象:社会人の皆様)	秋田県内就職希望登録 (対象:大学等 学生の皆様)
① 求人情報(冊子)の提供	○	○
② Aターン情報誌「あきた日和」の提供	○	
③ Aターン合同就職相談会など各種事業の案内	○	○
④ 個別相談会 (県内企業リクエスト対象者相談会など)の実施	○	
⑤ Aターン企業面接交通費の助成 *詳細は事前にお問い合わせください。	○	在学中で、卒業年次の1月以降、未内定の学生の方は、Aターン希望登録後に対象になります。
⑥ 個別求人開拓 *既存求人では就職が難しいと判断された場合やAターン時期が既に決定されている場合、履歴書や職務経歴書を提出いただける方については雇用労働アドバイザーが求人開拓をします。	○	
⑦ その他 *ご要望に応じた各種資料を提供します。	○	
⑧ 就職に役立つメールマガジンの配信		○



Aターンプラザ秋田 スタッフ

Aターン希望登録のご案内

社会人の方は Aターン希望登録を!

登録方法は

- 相談窓口にて
 - Aターンプラザ秋田
 - (財)秋田県ふるさと定住機構
 - 名古屋、大阪の各秋田県事務所
 - 県各地域振興局
 - 秋田県内各ハローワーク
 - (財)秋田県ふるさと定住機構のホームページにて登録申込用紙をダウンロードし必要事項を記入いただき、E-MAILで送信、またはFAX、郵送をしてください。
- 登録できる方は
- 現在、秋田県外にお住まいの方。
 - 在学中で、卒業年次の1月以降、未内定の学生の方。

学生の方は 秋田県内就職希望登録を!

登録方法は

- 携帯電話から(QRコードをご利用ください)。
- 秋田県公式WEBサイト「美の国あきたネット」雇用労働・定住支援、大学・短大・専修学生の就職定住支援スペースから(電子申請フォームにて)。



Aターン求人開拓の現場から

企業が求めるのは 秋田を元気にする力

雇用労働アドバイザー



秋田県山本地域振興局
雇用労働アドバイザー
金谷 哲郎さん

雇用労働アドバイザーとは？

雇用労働アドバイザーは、県の各地域振興局(秋田を除く)と雇用労働政策課に1名ずつ配置され、担当区域の企業等を訪問し、求人の開拓や労働条件等の調査、企業向け支援制度の情報提供などを行っています。

特に今年度からは、県内在住者を対象としていた企業の求人枠を、県外からのAターン者への拡大へと呼びかけていくことが重点課題となっています。



Q.県内の雇用状況は？

リーマンショック以来続いていた景気低迷から、一部に回復の兆しが見られたものの、今度は東日本大震災の発生で、県内経済にはさまざまな影響が出ています。このような状況下では、企業も新たな雇用拡大には慎重にならざるを得ないと思います。

それでも、即戦力となる人材は求められていますね。

Q.就職を有利にするコツは？

アピールできる技術や技能がない場合、就職に備えて自分の適性に合わせた技術や技能を身につけることも必要だと思います。一般職は採らないが、技術系専門職なら欲しいという企業は少なくありません。一例として、高齢化の進む秋田では、医療系や介護系の事業所で、専門職が人手不足となっています。

Q.専門職なら就職しやすい？

専門技術や技能は、有利な条件になります。でも、仕事を求める人も選択肢を広げることが大切です。首都圏でそれなりの収入を得てきた人ほど「もっと条件のいい所があるのでは」と就職を決めかねるケースもあるのではないのでしょうか。秋田は住宅費や物価も安く、豊かな自然や人の交流など、収入+アルファのメリットがたくさんあることも考慮してはいかがでしょうか。能代山本管内で従業員30名以下という企業は全体の9割以上を占め、それぞれ独自の事業展開で業績を伸ばしている企業もあります。状況が厳しいとはいえ、秋田を元気にする人材は常に求められています。これは、どの企業にも共通した思いですね。

わっぱがだすども、 秋田のおもっしえ〜どご 描いてみだっす！

※ざっくりとはありますが、(マンガとネットで)
秋田のおもしろいところを描いてみました。

こばやし たけし さん

studio at-take代表

マンガ描き&イラストレーター「爆笑四コマわっぱが物語 はじめての秋田弁」著者。

秋田市出身、高校卒業後、3年間茨城の製鉄所で働く。18年前に帰省、仕事の傍らweb上で描き続けていた趣味のマンガ「あきた4コマち」をまとめた「はじめての秋田弁」(無明舎出版刊)を、昨年4月に発表。

爆笑四コマわっぱが物語 はじめての秋田弁

(無明舎出版)

横浜から秋田の高校に転校してきた主人公神宮寺みなせが、ネイティブでユニークな秋田の人たちに囲まれて過ごす日常を描いた4コママンガ集。標準語解説つき秋田弁で語られる秋田の暮らし、風俗、歴史の魅力が好評。



1Q84を抜いた!? どでんしたっすなあ。

※どでん(動転)=びっくりした

最初は、売れなかつたらどうしようっていう心配ばかりでした。描き始めてわずか3年での出版なんて、「自分でいいの?」って感じですね。ブログのファンとか、中・高校生がちよっとおもしろがってくれればいいな?…ぐらい。でも、多くのメディアで取り上げてもらえたこともあり、若い世代だけでなく、県外に住んでいる秋田出身の人、秋田を知りたいという人、中高年層の方々からもいろいろなコメントをいただきました。中には、「おらはの言い方と違う」という感想もありましたが、地域ごとに違う表現もまた秋田弁の奥の深さと感じています。発売直後の去年5月から9月まで、秋田駅前の某書店では村上春樹さんの「1Q84」を抜くベストセラーになったと聞いたときは、もう自分のことじゃないような気がしていました。





なにがしねねと思ったす。

※ねね=なければいけない ちなみに「ねねね」は寝なければいけない

趣味で読んでいたマンガを、自分で描くようになったのは10年ほど前。結婚して子どもが生まれ、家族の将来や秋田の現状が気になり始めた頃でした。妻との会話の中でも、不景気や少子化、過疎、それに私自身も感じる「どうせ秋田は…」みたいな田舎コンプレックスもあって、最後はいつも盛り下がる(笑)。これじゃあ、大人はともかく若い世代は、何の希望も持てないなと感じました。自分にも何かできないかという思いで、たどり着いたのがマンガです。

へば、どんたふうを描けばいべが…?

※では、どんなふうを描けばいいのだろうか?

茨城でのサラリーマン時代に感じた秋田の印象も取り入れました。例えば秋田は、田んぼと山、茅葺きの家に囲炉裏といった日本昔話の世界というイメージは根強いようです。逆に“秋田ってどこにあるの?”といわれるとカチンときますが、これはお互いさま。秋田の人だってすべての都道府県の位置がわかるわけじゃありません。

そんなふうに着秋田を知らない人の視点で描いたら、幅広

く読んでもらえるのではと考えました。

実際、こんなネイティブな秋田弁を話す高校生は多くありません。でも、いろんな場面で聞く秋田弁を凝縮するとこんな感じになります。作品では、横浜育ちの主人公が“初めての秋田”を体験します。かちゃましねくて(騒々しくて)、えふりこぎ(見栄っ張り)だったり、しったげ(とっても)背が高かったりする友人たちとの日常のなかで、秋田の魅力を見聞きしていく様子を描きました。

ごろっとしてらいねっす。 まだまだすこったま勉強さねば。

※いい気になってられません。もっとスグく勉強しなければ。

4年前、ブログで公開した当初は1日20～30人程度だったアクセスが半年で70～80人へと増え、何となく手応えを感じるようになりました。でも、出版が決まってからが大変(笑)。趣味で気ままに描いているうちはよかったのですが、本にするには描いている内容が確かなものでなくてははいけない。歴史や風俗、秋田弁の語源も調べて何度も書き直しました。

おかげさまで、秋田を紹介するマンガやイラストの仕事が増えるようになりました。伝えたいことはもっとあるし、そのた



めには勉強もしなければいけない。また、活字では表現しにくい秋田弁を実際に聞いてもらいたいとも考えています。電子書籍で出版してみたいです。方言を音で聞いたり、ハイパーリンクで言葉の意味をカンタンに調べられますからね。マンガ・ネット世代に、秋田の魅力を知って、ずっと秋田で暮らしたいと感じてもらいたいですね。



はじめての秋田弁の原点となったブログ「あきた4コマち」
<http://akitayonkomachi.blog38.fc2.com/>



登録者連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

■住所変更連絡欄（変更後の住所等を記入）

〒 -

☎

■封筒の種類（どちらかに✓印）

☐ 白封筒 ☐ 定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。

氏 名 登録番号 -

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

登録住所 〒 -

☎